「第三次プノンペン都洪水防御・排水改善計画」部分引渡式

８月３０日（金）、プノンペン都６３通りにおいて、同都主催の「第三次プノンペン都洪水防御・排水改善計画」の部分引渡式が行われました。本計画は、プノンペン都の洪水危険地区の排水設備の改善を行う事業で、２００２年及び２００７年に無償協力で実施された第一次及び第二次に引き続いて行われているものです。第三次計画はプノンペン市南東部における８地区の排水設備の改善を対象としており、２０１５年１０月に完成予定です。今回は、本格的な雨期を迎えつつある中で、少しでも早く改善効果を得るべく、３地区（トゥールスレン、ボンケンコン、トゥールトンポン）の内、排水管の設置が終了した部分について、部分引き渡しを行いました。

同式典には、パ・ソチエットボン都知事をはじめ、都関係者、地域住民約３００名が参加しました。始めに、サム・ピセット プノンペン都公共事業運輸局長より、事業概要説明がありました。次に隈丸大使より、「本計画の一部を引き渡すことができてうれしく思う。また、洪水防御機能を維持するための都知事の取り組みを高く評価する。このプロジェクトを通じて、クリーンな都市としてのイメージを促進することにより、より多くの訪問者と投資を誘致することを願っている。」と述べました。続いて、パ・ソチエットボン都知事からは、「日本政府に対するカンボジアの貧困削減のための協力に深く感謝する。地域や住民が一丸となって、良好な洪水防御機能を維持するための取り組みを継続すべきである。」と述べました。その後、隈丸大使とパ・ソチエットボン都知事が、設置された説明看板等を閲覧し、和やかな雰囲気のもとに式典が終了しました。

隈丸大使のスピーチ

設置されたマンホール

新たに設置された説明看板

説明看板の閲覧（左：大使，右：知事）